

## SDGs (持続可能な開発目標) と地方創生

### 八雲町×上智大学 八雲町の産業、地方創生について考える

9月14日～17日、上智大学の学生10名が八雲町との交流事業で来町しました。

2回目(昨年度は台風被害のため中止)となる今回は「SDGsと地方創生」をテーマに3泊4日の日程で、八雲町内の再生可能エネルギーの取組を視察し、地元八雲高校の生徒と共に基幹産業である酪農や漁業の体験を行いました。

初日は、この事業のきっかけを作った(株)ジェーシー・コムサ代表取締役CEOで、社会貢献活動に取り組む一般社団法人ほのぼの運動協議会代表大河原毅氏から、SDGsの考えに沿った循環型社会の大切さや、自分が過去に取り組んできた、日本ケンタッキーフライドチキン代表時代の国産飼料を使ったハーブ鶏の試験研究と八雲町との出会いなどを講演いただき、15日には資源循環型畜産を実施している北里大学八雲牧場の見学、16日には高校生と共に、平野牧場平野氏の指導のもと、搾乳や哺乳、牛舎の清掃体験、落部漁協では、ホタテ養殖事業をVTRや資料で学んだ後、漁業士活動支援協議会の指導のもと、稚貝選別作業などを体験しました。最終日には「SDGsを踏まえた八雲町の発展と社会への貢献」をテーマに高校生とグループ討議を行い、八雲町の「産業の振興」「担い手の育成」「再生可能エネルギーの活用」などについてさまざまな視点から提案をいただきました。今後も、レポート提出や意見交換などを行い交流を継続していく予定です。



### 個人で！ チームで！ みんなで運動会！

#### 第49回 熊石地域町民運動会

第49回熊石地域町民運動会(同実行委員会主催)が9月3日、熊石漁港ふれあい広場を会場に行われ、秋晴れの空の下、選手や応援に駆け付けた町民約200人がユニークな競技をとおして交流を深めました。全員でじゃんけんをし、最後まで負け残った人がチャンピオンとなる種目「負けるが勝ちよ！」から競技がスタートし、運動会の定番の「パン食い競争」のほか、漁業で使う背縄を樽に巻いたり、ほどいたりして競う熊石伝統の種目「白熱！！背縄巻きリレー」では、チームごとに熱戦が繰り広げられ、子どもからお年寄りまで元気いっぱいプレーで汗を流しながら、笑顔をこぼしていました。



### からだを動かしてハッスルプレー！

#### 第39回 熊石老人スポーツ大会

第39回熊石老人スポーツ大会(熊石老人クラブ連合会主催)が8月30日に、ふれあい交流センターくまいし館で開催され、熊石地区の老人クラブ会員と八雲地区の老人クラブ連合会の会員あわせて約140人が熱戦を繰り広げました。開会式で泊川地区の加藤慎治さんが「最後まで全力を尽くすことを誓います」とハツラツとした選手宣誓を行い、参加者全員で準備体操により十分体をほぐしてから競技を開始しました。大会では日頃の老人クラブの活動を通して養われたチームワークやハッスルプレーが随所に飛び出し、声援や拍手が起きるなど、会場は笑顔に包まれました。

